

「みんなでつくろう、 これからの医療」プロジェクト

第1回ウェブセミナー ～新たな患者会・活動のカタチ～

一般社団法人ピーベックでは、「病気があっても大丈夫と言える社会」の実現に向け、あらゆる人が立場を超えて「これからの医療」を一緒に考え、創っていくためのプロジェクトを発足します。

治療のために生活を諦めるのではなく、自分らしい生活のための治療ができるように。日本のこれからの医療を素敵なものにするために、病気や資格の有無に関わらず、すべての人たちが語り合い、病気をもつ人視点の治療・薬、新しいサービスをみんなで創るプロジェクトです。

今回のウェブセミナーでは、病気の経験を新しい価値に変える活動に取り組む谷島さんをお迎えし、患者会活動を進化させていくために必要なこと、病気をもつ人の潜在価値をもっと高めるための活動のヒントなどを議論します。

2020年7月19日(日) 13:00~15:10

場所 YouTubeライブ配信(参加無料)

対象 病気をおもちの方、患者会関係者、ライフサイエンス企業関係者
医療従事者、興味のある市民の方

申込 ピーベックウェブサイトよりお申し込みください。視聴リンクを送ります。
ウェブサイト・お問い合わせ:<https://ppecc.jp/>

パネリスト

谷島 雄一郎 大阪ガス株式会社 近畿圏部 ソーシャルデザイン室
ダカラコソクリエイト 発起人・世話人/カラクリLab. 代表

1977年生まれ。大阪ガス株式会社に勤務。2012年、長女の誕生とほぼ同時に、食道に希少がん(GIST)が見つかる。当時34歳。以来、再発・転移を繰り返しながら防戦中。
15年「がん経験を新しい価値に変えて社会に活かす」をテーマにしたプロジェクト「ダカラコソクリエイト」を始動。がん経験者ダカラコソできることを、業種・分野の枠を超えて形にすべく活動している。
19年、がんをはじめ、生きづらさを嗜む人のコミュニティスペース「カラクリLab.」を立ち上げた。

宿野部武志 一般社団法人ピーベック/じんラボ

池崎 悠 一般社団法人ピーベック/難病NET.RDing福岡

